

佐潟通信

2023年3月
80号

佐潟(さかた)は1996年3月に登録されたラムサール条約湿地です

佐潟のようす

10月7日に56羽のコハクチョウの着水が確認されて以降、今期も多くの水鳥たちが佐潟に渡ってきて冬の間を過ごしていました。

また、寒波で湖面もほぼ凍り、寒い日が続いた頃はヒシクイやマガン、ハクガンなどがいつもより長く滞りました。そして、暖かくなった頃、佐潟周辺で冬を過ごしたハクチョウたちは2月中旬には北へと渡っていきました。カモたちの多くも子育てする場所へと渡っていきます。

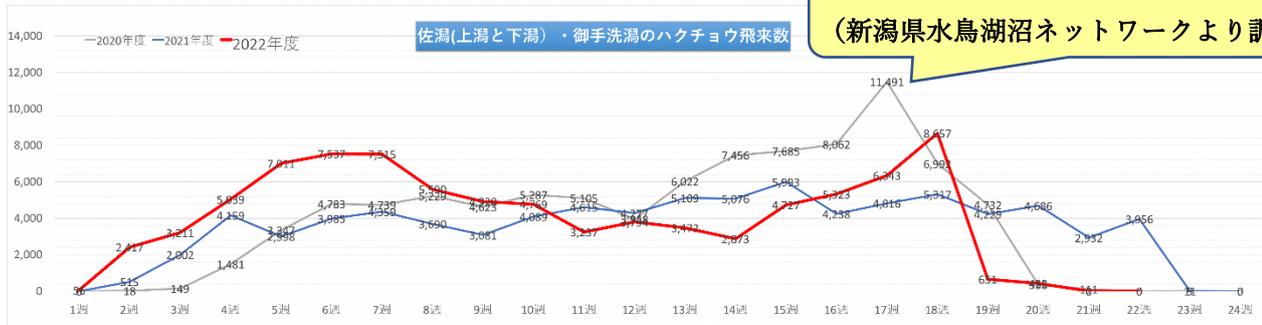
冬から春へと移り変わる佐潟。春を探しにぜひお越しください。



【令和4年12月20日撮影】

佐潟・御手洗潟のハクチョウ飛来数

(新潟県水鳥湖沼ネットワークより調査結果提供)



佐潟で秋から冬に見られた野鳥等



オナガガモ



ホシハジロ



ジョウビタキ



朝の風景



オオマルバノホロシ (実)



ミノムシの仲間



オオカマキリの卵



虹

佐潟のイベント

【11月19日】

佐潟探検隊（さかたん）
第4回 冬鳥の観察・修了式



穏やかな晴れの天気恵まれ、潟にいるハクチョウの様子や飛び立ち、カモの仲間などをゆっくり観察でき、参加者の皆さんが楽しんでいたのが良かった。

【12月3日】

冬鳥ウォッチング



前日の寒波で雪景色での観察会となった。ガチガチに凍っているため、足元に注意して行った。ゆっくりと丁寧な説明を聞きながら観察をして、参加者は楽しそうに野鳥等を見られていた。

【2月4日～2月26日】

佐潟文化祭



写真や手芸、地元の書道会の書道等たくさんの作品を展示できた。
また、佐潟探検隊(さかたん)での活動も展示して、来館者に見ていただいた。

新型コロナウイルスの感染予防対策等について

来館される皆さまには引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手指の消毒等の基本対策は引き続き徹底をお願いします。マスクの着用については、個人の判断が基本となります。ご理解いただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルスに関する情報は新潟市と佐潟水鳥・湿地センターのホームページやツイッターでお知らせします。

「ラムサール条約湿地自治体認証」

令和4年11月10日、新潟市は国内初の「ラムサール条約湿地自治体認証」を受けました。

佐潟水鳥・湿地センター

ラムサール条約の理念に基づき、鳥類などの観察や湿地保全啓発の拠点として、1998(平成10)年5月に開設された施設です。

- 開館時間 9:00～16:30(冬期間11月から2月の毎土日は早朝7:00開館)
- 休館日 毎週月曜日(祝日、振替休日の場合は翌日)12月29日～1月3日
- 交通のご案内 車：北陸自動車道新潟西ICより約20分、巻潟東ICより約20分

2023年度

令和5年度4月始まり

佐潟カレンダーを配布しています。

編集 佐潟水鳥・湿地センター

〒950-2261 新潟市西区赤塚5404番地1
TEL025(264)3050 FAX025(264)3051
E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp

発行 新潟市西区役所地域課文化・スポーツ担当

〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号
TEL025(264)7193 FAX025(269)1650

展示が一部
リニューアルしました。



佐潟についての情報、質問等ありましたら、お気軽にご連絡ください。